## ブーンパディート箱粒剤(シアントラニリプロール・ジクロベンチアゾクス粒剤)

適用病害虫と使用方法

2024年7月24日現在

作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用 回数	使用方法	シアントラニリプロール を含む農薬の 総使用回数	ŷ゙クロベンチアヅク スを含む農薬 の総使用回数
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	1kg/10a	は種時  移植時	1回	は種同時施薬機 を用いて土中施 用する。 側条施用	10	3回以内(但し、移植時までの処理は1回以内、本田
稲(箱育苗)	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病 菌) もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ コブノメイガ ニカメイチュウ フタオビコヤガ イネツトムシ	高密度には 種する場合 は1kg/10a( 育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5L) 1箱当り50~ 100g) 育苗箱(30×60 ×3cm、使用土均50 約5L)1箱当り50	は種時(覆土前) 〜移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		での散布は2回以内)
	いもち病 白葉枯病 内類褐変病 苗立枯細菌病 苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 穂枯れ(ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ コブノメイガ ニカメイチュウ ワタオビコヤガ イネツトムシ	g 高密度には 種する場合 は1kg/10a( 育苗箱(30× 60×3cm、使 用土壌約5L) 1箱当り50~ 100g)	は種前		育苗箱の床土又 は覆土に均一に 混和する		

**」**適用拡大登録月日:2024年07月24日

## ブーンパディート箱粒剤(シアントラニリプロール・ジクロベンチアゾクス粒剤)

適用病害虫と使用方法

2024年7月24日現在

作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用 回数	使用方法	シアントラニリプロール を含む農薬の 総使用回数	ŷ゙クロベンチアゾク スを含む農薬 の総使用回数
稲(箱育苗)	い白内苗苗菌穂菌も谷谷谷コカ谷 苗苗菌病病病病 は一大学 はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから	高種は1kg/10a( 育は1kg/10a( 育は20x 60×3cm、 用箱当り50~ 100g) 育苗×3cm、 60×3cm、 第60×3cm、 1箱当り50g	は種前 は種時(覆土前)	10	は覆土に均一に 混和する 育苗箱の上からる り一に散布する		3回以内(但し、移植時は1回以内、本は2回以内(回以内)
	イナコ* 類 ヒメトと* ウンカ イネとメハモク* リハ* ェ ヴマク* ロヨコハ* イ	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50~100g) 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50g	移植当日				

□適用拡大登録月日:2024年07月24日

## ブーンパディート箱粒剤(シアントラニリプロール・ジクロベンチアゾクス粒剤)

適用病害虫と使用方法

2024年7月24日現在

作物名	適用病害虫	使用量	使用時期	本剤の使用 回数	使用方法		ŷ゙クロベンチアゾク スを含む農薬 の総使用回数
稲(箱育苗)	イナコ゛類 ヒメトと゛ウンカ イネヒメハモク゛リハ゛ェ ツマク゛ロヨコハ゛イ	育苗箱(30× 60×3cm、使 用土当り50g 用土当り50g 高密場育はは1k g/10a(育×3cm (30×60×3cm 、使用土り50 と)1箱当り50 ~100g)	移植当日	10	育苗箱の上から 均一に散布する。	10	3回以内(但 し、移植時ま での処理は1 回以内、本田 での散布は2 回以内)

\end{bmatrix}適用拡大登録月日:2024年07月24日